

反核・反原発の日韓連帯闘争を強化しよう！

－原爆ドーム前で開催される 8.6 青空集会に送る連帯メッセージ

反核・反原発闘争を闘っている日本の仲間の皆さんに、AWC韓国委員会と左派労働者会を代表して連帯メッセージを送ります。ヒロシマ・ナガサキに人類最初の原子爆弾が投下されてから 67 年が過ぎました。それは帝国主義戦争がもたらした惨状のなかで最も残酷な事件でした。数十万の人が犠牲となった当時の惨状は、いま多くの人々の記憶の中から消えて行きつつあります。しかし今でも被爆 2 世 3 世たちは日本と韓国で苦痛の人生を送っています。1979 年アメリカのペンシルバニア州スリーマイル原発事故や、1986 年ソ連のチェルノブイリ（現ウクライナ）原発事故は、いまだ収束しておらず、依然として現在進行形です。2011 年 3 月の日本の福島原発事故は、核の安全がこれ以上不可能であるということを決定的に示した事故でした。核は人類が作った最高の災厄であり、野蛮であり、人類滅亡の警告です。

67 年前、ヒロシマで、たった 3 キログラムの原子爆弾一発が爆発して 20 万人の生命を奪いました。そのうち 2 万人は在日朝鮮人でした。ところが今現在、地球上に 1 万 5 千個を超える核爆弾が存在しています。その脅威がどれほど大きいのかは想像することさえできないほどです。またこの地球上で多くの原発が稼動しており、今も新たに建設されつづけています。原発の使用済み燃料から抽出されるプルトニウムは核兵器の原料となります。原発が稼動しているかぎり、核兵器は継続的に生産され得るのです。日本内部の軍国主義者と帝国主義者たちは、絶え間なく核兵器の保有を試みています。平和憲法 9 条を改悪し、日米軍事同盟を強化しています。米国は在日米軍基地を拡張し続けています。日本の原発政策は核保有の欲望と直接的な関連があります。原発から抽出されるプルトニウムが核兵器の原料となるからです。

福島原発事故を経験して日本社会は、精神的混乱に直面したと思います。今年の 6 月アジア共同行動に参加する中で感じたことですが、日本社会と日本人の認識の変化、または世界観の変化を確認することができました。傲慢な人間の科学技術がどれほど矛盾と限界を持っているのかということです。人類が歴史から教訓を得ることができなければ、この地球上でこれ以上平和な生活をしていくことができないでしょう。核兵器と原発事故は人類の滅亡をもたらす深刻な問題です。もうこれ以上、他の選択はありません。核兵器と原発を廃棄する道しかないのです。しかし大飯原発の再稼動で見られたように、資

本家たちと新自由主義の政治勢力は自分たちの利潤と公権力の維持のために、市民の安全な生活については関心を持つともしません。韓国もまた、寿命の尽きた古里（コリ）原発1号機を再稼動しました。

東北アジア地域は、軍事的緊張が高まり、兵器が集中しています。中国、日本、韓国には多くの原発があります。核兵器と原発が集中している東北アジア地域は、戦争と原発事故が起こりうる、二重の意味で危険な地域です。帝国主義戦争と新自由主義的資本主義の貪欲が作り出している原発が、これ以上再起動されたり拡大されたりしてはならないことが福島原発事故ではっきりと示されています。中国と韓国で稼動中の原発もまた福島原発のように危険性を抱えています。今年の7月16日、日本の東京で17万人以上が集まった原発反対集会は、日本はもちろん全世界に原発と核の脅威を改めて知らせました。私たちは同じ日にソウルでも反核・反原発集会を開きました。今、日韓両国はもちろん、東北アジア地域全体、ひいては全世界的に、反核・反原発の労働者・市民連帯運動を展開していかねばならないと思います。日本政府が推進する原発政策の全面破棄と、米国など帝国主義勢力が保有している核兵器の全面廃棄のために共に闘いましょう。8月6日、被爆2世の会をはじめとした皆さんが主催される「青空集会」にAWC韓国委員会と左派労働者会は支持と連帯を送ります。

2012. 8. 6

AWC韓国委員会、左派労働者会

常任代表 ホ・ヨング

Office Address:

4/F, Erythrina Bldg., Matatag cor Maaralin Sts.

Bgy. Central, Quezon City, PHILIPPINES

Tel / Fax. 435-6830



Email: bayan_national@yahoo.com

BAGONG ALYANSANG MAKABAYAN

フィリピン新民族主義者同盟 (BAYAN)

広島・長崎の被爆記念日に際しての連帯メッセージ

*すべての生きとし生けるものは人も動物も文字どおり焼き焦がれて死に絶えた—
(1945年8月6日広島爆撃後のラジオ東京)*

BAYAN は、広島・長崎への米国の原爆投下 67 周年を弾劾する日本の平和を愛する人々とともに立ち上がる。米軍兵士は 1945 年 8 月 6 日広島に、8 月 9 日長崎に原爆を投下した。

これは核兵器が戦争に使用された唯一のケースであり、思い出すだけでも恐ろしいことである。以降 4 ヶ月のうちに死者が広島でおよそ 8 万人から 16 万 6000 人、長崎で 6 万から 8 万人にのぼり、核兵器の破滅的結果をみせつけた。

長崎への投下から 6 日後に日本は米国に降伏し、9 月 2 日に降伏文書に調印して、第二次大戦は公式に終了した。日本の敗北は米国の占領をもたらした。

他方で被爆によって日本は非核三原則を採用し、みずからの核兵器使用を禁じた。そして同様に、憲法のなかに日本が他国の人民と戦争を行なわないという平和条項を設けた。

日本の 2 つの都市にたいする原爆投下と非核原則という歴史的な文脈のなかで、私たち BAYAN は世界中の平和を愛する人々とともに、引き続き侵略戦争反対のたたかいや核兵器その他大量破壊兵器に反対するたたかいに決起する。また同様に、日本の人民とともに、大電力会社の発電の原子炉建設や継続使用に反対する。

私たちは日本の人民、反核団体が 6 月 29 日、7 月 29 日に関電大飯原発の 2 つの原子炉の再稼動にたいして大衆的な抗議行動を行なったことを歓迎する。広島・長崎の被爆者もこれに参加していた。この抗議行動は戦闘的であり、政府の計画に対する日本人民の怒りを示すものである。人民は警察の暴力、弾圧をも恐れず次々と前進を続けた。

6 月 29 日の抗議行動は 1960 年代以降で最大級といわれ、日本人民による政府の政策への強固な反対をしめすものであった。その政策は人民にふりかかる命の犠牲や傷害と引き換えに電気を供給することによってトヨタなど多国籍企業の利益をあげさせるものであった。私たちは福島第一原発の惨禍を充分によく知っており、それをくり返してはならないと強く思っている。

他方で BAYAN は日本人民と AWC などの組織に、団結して米帝国主義の戦略と闘うよう要請する。その戦略とは米国にたいする経済的・軍事的な二つのライバル—中国と朝鮮民主主義人民共和国—が存在するアジア太平洋地域において権益を求め回帰し対抗することである。しかし、こ

のような米帝の回帰は関係諸国の平和、地域の安定、国家主権にたいする継続的な脅威をもたらしている。

この戦略のもとに米国はいわゆる中国－フィリピン紛争を使って、原子力潜水艦、スパイ機などの兵器、フィリピン各地への数千名の米軍部隊の配置を合理化している。フィリピン人民は 1991 年 9 月 16 日に米軍を追い出したしたのであるが、米国は訪問米軍協定（VFA）や相互軍事物資融通協定（MLSA）を通じてフィリピンをその実質的な軍事基地に落とし込めてきたのである。

米国はこの戦略を推進するために頻繁に軍事演習を行なっている。これは訓練と呼ばれ米国の同盟国であるオーストラリア、韓国、日本も参加している。

BAYAN は日本・フィリピンの人民に、アジアにおける米国の戦力増強に対して連帯して決起するよう訴える。私たちは日本・韓国に存在する米軍基地の撤去、フィリピンの米軍部隊の撤退を要求する。

ともに団結して米帝国主義とそのアジア太平洋における経済的・政治的・軍事的動きに対して共通のたたかいを前進させよう。核のない平和な社会、米帝のいない社会をつくるために闘おう。

新民族主義者同盟（BAYAN）



BAYAN Japan

Bagong Alyansang Makabayan (New Patriotic Alliance)

広島への原爆投下67周年にあたっての連帯メッセージ

BAYAN-Japan

広島と長崎への原爆投下から67年目に際して、BAYAN-Japanは日本の民衆および全世界の平和を愛する民衆とともに、その犠牲者と生存者に思いを馳せ、米国と日本を含む帝国主義の同盟者たちがいまでも核開発を続けていることを弾劾します。

8月6日の午前8時15分頃、米軍のB-29爆撃機エノラ・ゲイがリトルボーイと名づけられた原子力爆弾を広島上空に投下し、TNT火薬約1万2500トンにあたるその爆発力によって、約9万人の人々を瞬時に殺戮しました。3日後の1945年8月9日には長崎がファットマンと呼ばれる第二の原子力爆弾によって廃墟と化し、約4万人の人々がその場で殺戮しました。さらに何万人もの人々が、放射能や他の関連する疾病、爆撃による負傷のために数日後、数週間後、数ヶ月後に亡くなっています。

67年が経過した今も、広島と長崎の被爆者たちはこの歴史上最も破壊的な惨事による後遺症に苦しめられています。被爆二世・被爆三世は人々の健康と環境に対する原爆の影響の証拠を示しています。しかし、これらすべてにもかかわらず、アメリカ帝国主義はいかなる悔悟をも示していません。そしてまた悲しいことに、政府を掌握する日本の独占資本もまた被爆者たちに対する国家補償をしておらず、適切な医療を提供していません。

この二つの爆撃は、歴史のなかでおこなわれた人類に対する最悪の戦争犯罪のひとつです。しかし、この恐るべき破壊の実例にもかかわらず、核兵器の脅威は戦争中にこの大量破壊兵器を使用した唯一の国のために今もなお存在し続けています。核兵器の95%以上は米国（とロシア）が保有しており、両国ともそれをそれぞれの軍事戦略の中に組み込んでいます。残りの核兵器はイギリス、フランス、中国、イスラエル、インド、パキスタン、朝鮮民主主義人民共和国が保有しています。日本は核兵器自体は保有していませんが、その独特の方法で、この核開発競争に近づいています。

一年以上前の福島原子力発電所のメルトダウンは日本に厳しい教訓を与えました。しかし、このような国と民衆の苦難に直面してもなお、日本政府はその原子力エネルギー政策を放棄することを拒否しています。福島で損壊した原子力発電所の近くの土地、水、空気の放射能汚染による深刻な問題は言うまでもなく、続いている被曝は東北地方の人々、とりわけ子どもたちをゆっくりと殺しています。日本は今では歴史上の二つの最悪の核被害を経験したのであり、そこから価値ある教訓を引き出さねばなりません。にもかかわらず悲しいことに、帝国主義者たちは、その本性として、それらの教訓をまったく学ぼうとしません。日本政府は今、日々強まり広がり激しくなる民衆の抵抗を無視して停止中の原発をひとつづつ再稼働させようとしています。

今日、広島と長崎への原爆投下に思いを馳せつつ、BAYAN-Japanは核兵器と原発に反対し、あらゆる形態の帝国主義の侵略戦争、収奪、軍事介入、抑圧に反対する日本の民衆および全世界の民衆と連帯して立ち上がります。私たちは今日、いまでも続く米国の侵略戦争のためにアフガニスタ

ンやイラクなどできわめて多くの数の民衆が死傷しているのを目撃しており、それゆえ私たちは帝国主義のあらゆる形態の反動勢力に対する抵抗をさらに前進させていかねばなりません。

私たちの反核闘争は、帝国主義に対する私たちの闘い、米日軍事同盟に反対し、沖縄、神奈川、岩国での米軍基地の強化に反対し、日本への米軍輸送機オスプレイの配備に反対する私たちの抵抗と密接に結びついています。

BAYAN-Japanはまた、被爆者、被爆二世、被爆三世への国家補償と適切な医療の提供を要求し、すべての原発の閉鎖とその新設の中止を要求する日本の民衆をつねに支持しています。私たちはまた、そのような日本の民衆と共に、日本の独占資本家が第二次世界大戦中の日本の侵略行為に対する責任を取り、アジアの戦争被害者に補償をおこない、日本の再軍事大国化策動をやめることを要求します。

広島・長崎への原爆投下はつねに私たちに核兵器の危険性を思い起こさせます。**BAYAN-Japan**は全世界の民衆に対して、団結し、世界の平和を愛する民衆と国々への支配を強めようとする帝国主義とその核兵器その他の大量破壊兵器の製造、保有、使用という野蠻なテロリズム政策に対する闘争を強化していくことを呼びかけます。

すべての被爆者、被爆二世、被爆三世に国家補償を!
日本はアジアでの戦争犯罪に対する責任とれ!
日本の核開発と核武装化反対!
原発反対! 上関原発建設反対!
米日軍事同盟に抵抗しよう! 在日米軍基地の強化反対!
米軍基地を日本、そしてアジアから追い出そう!
日本国憲法改悪反対!

###

中国台湾労働人権協会からのメッセージ

敬愛する広島と長崎の原爆受難者とその家族、先進的労働組合、学生団体、市民団体、そしてAWC日本連の代表の皆さん、

AWC団体の一員として、中国台湾労働人権協会は、毎年この日、現地に集まっている皆さんと同様の悲痛な気持ちで、人類史上最も痛ましく比べるものがない悲劇の一つである1945年の広島・長崎への原爆投下を思い起こします。日本帝国主義の侵略戦争の帰結としてもたらされた原爆被害からすでに67年が経過しましたが、日本、アジア、そして世界の平和を愛する労働者人民はこの悲劇を心に留めており、このような悲劇が再び起こることを望んでいません。しかしながら、英米連合軍は2003年のイラク侵略の際に劣化ウラン弾を使用し、イラク人民の生命、生活、環境を傷つけてきました。2011年3月11日の太平洋津波がもたらした日本・福島原子力発電所の放射能危機は、今なお日本人民を高レベルの被爆の脅威にさらしています。

日本政府はこのような厳しい放射能汚染危機に直面しつつも、その年の原爆危機がもたらした日本での被害を忘れ、日本のエネルギー政策を再検討・変更し、頑迷にも原発を使用しつづけ、また山口県の上関原発を闇雲に建設しようとし、核武装を狙い、人民の貴重な生命を顧みようとしないのです。日本政府のこうした独断的で軽率な政策は人民の意志に反した無責任な行為で、全アジアと世界の労働人民はみな厳しく日本政府のこうした危険な原発政策を譴責し、それに反対しており、私たちは日本政府は速やかに原発の運転と上関と山口の原発の建設をやめるよう、一致して求めます。また、1945年の原爆危機によるすべての犠牲者、生存者、遺族、被爆二世・三世、さらには外国籍の被爆者に対して、賠償と救済および長期的な保護を行うべきです。

日本でこのかん続いている国会や首相官邸を包囲する人民の反核運動と集会は、深く私たちを啓発し激励しています。私たちはまた、日本人民の反核運動のなかで同時に米軍基地反対の主張がなされていることに奮起させられています。世界最大の核武装国である米国は長期にわたって沖縄を占領し、日本各地に軍事基地をつくることによって、近隣諸国に災厄をおしつけ、アジアの平和発展の過程に干渉しています。平和を愛するアジアの労働者人民は断固としてこれに反対します。皆さんの「反核・反基地」の闘争と事業は、私たちの共同の闘争と事業であり、私たちは皆さんと共に断固として立ち上がり、アメリカ帝国主義の世界支配の野望と策動に反対して一致して行動します。

私たちは要求します:

1. 日本政府は被爆者・被爆二世・被爆三世に賠償をおこなえ!
2. 日本政府は第二次世界大戦中のアジア各国への日本の侵略がもたらした死傷と損害に対して公式謝罪と賠償をおこなえ!
3. 日本政府の核武装策動反対! 全世界は共同で核の廃絶を!
4. 山口県上関原発の建設の即時停止を!
5. 日本国内のすべての原発の閉鎖を!
6. 日本による原発および関連技術の輸出反対!
7. 米日軍事同盟反対! 在日米軍基地の拡大・強化反対! すべて米軍はアジアから撤収せよ!
8. 平和と人権を守るために憲法改悪に反対しよう!

全世界の平和と正義を愛し、帝国主義の支配に反対する労働者人民は、団結して立ち上がりましょう!

8月6日の原爆記念日の人民の反核集会の順調な成功を謹んでお祝います!

労働人権協会 会長 羅美文
執行長 王娟萍

広島平和記念公園での「8・6広島青空集会」への 米国・ANSWER連合からのメッセージ

世界で最初の原爆攻撃から67周年にあたる2012年8月6日の今日、それを忘れないために世界中の人々が集まっています。

1945年のこの日、米軍は広島に原子爆弾を投下し、14万人以上の人々を瞬時に殺戮し、何万人もの人々に重傷を負わせました。その3日後には第二の原爆が長崎でさらに7万人もの人々を殺戮しました。

アメリカの教科書で述べられていることとは逆に、原爆はアメリカ人の命を救うために投下されたのではなく、ソ連や世界に対する脅しとしてアメリカの軍事力を見せつけるために投下されたのです。この恐るべき攻撃は、より広いアメリカの世界支配戦略にとって不可欠のものだったのです。

アメリカ政府は、世界でかつてなかったほどの軍事帝国として自らを確立してきました。ペンタゴン（米国防総省）は約1万発の核弾頭を保有し、世界で最新鋭の兵器の発射実験を数え切れないほどおこなっています。しかし、それは単なる実験ではありません。こうした軍事能力をもつアメリカは、過去に核兵器を使用した唯一の国であり、それに続いて侵略戦争に次ぐ侵略戦争をおこない、違法な転覆行動を繰り返してきたのです。

ANSWER連合は、過去11年間にわたって、何百万人ものアメリカの民衆をアメリカの侵略、占領、戦争の恫喝に反対する街頭での行動に立ち上がらせてきました。今日、わたしたちはアメリカの様々な都市で、この日を記念し、アメリカの軍国主義を弾劾する取り組みに参加しています。

ANSWER連合は被爆者やその子孫に補償と謝罪がなされなければならないという今日の広島での集会の要求を支持します。

わたしたちはアジアや世界での米軍の展開の中止と米軍基地の撤去を求め、そして朝鮮民主主義人民共和国やその他の国に対するアメリカの戦争恫喝に反対して断固として立ち上がります。

わたしたちは、今日広島で集会をおこなっている兄弟姉妹のみなさんに連帯します。

そして、平和に対する世界最大の脅威、アメリカ帝国主義の終焉をもたらすために活動しつづけることを誓います。

**正義、平和、人間の尊厳のために立ち上がろう！
核と帝国主義戦争に反対しよう！**

8・6 広島集会へのアジア太平洋反基地ネットワークからの連帯メッセージ

私たちアジア太平洋反米軍基地ネットワークは、8・6 広島青空集会を行っている被爆二世の会、AWC 日本連、労働組合、学生団体など多くの平和を愛する日本人の人々に私たちの熱烈な連帯のあいさつを送ります。

皆さんの毎年の行動はすばらしいものであり、私たちはそれに大きく励まされています。平和および核兵器も戦争もない世界を求める皆さんの断固としたたかいは、核兵器と戦争に反対する国際的な運動に参加し続けようという私たちの決意をさらに強いものにしていきます。

私たちは、日本政府は原発の再稼働と新たな原発の建設、とりわけ山口県上関原発の建設を即刻中止すべきだという皆さんの力強い呼びかけを強く支持します。私たちはまた日本政府は原発の輸出を中止すべきだということにも賛成します。

日本政府は、広島・長崎の被爆者、被爆二世・三世への国家補償などなすべきことを行っておらず、日本と他国の人名の損失に対してもなすべきことを行ってきませんでした。

日本帝国主義は何としてでも原子力発電所を確立し、岩国や沖縄の米軍基地など軍事基地を強化し、そのために憲法さえ改悪しようとしているように思われますが、それは日本の民衆と国際社会の叫びと要求をまったく無視したものです。

日本政府はまた、アメリカ帝国主義と肩を並べて、あたかももうひとつのアジア占領戦争の準備をしているかのように、その軍事力をアジアに向けて拡張しようとしています。それは正義と平和、人間の尊厳、民衆の主権と受け継いできた財産の承認と尊重という私たちの呼びかけと決定的に対立するものです。

それゆえ、私たちは日本帝国主義による核開発および継続するアメリカ帝国主義との共謀・協調に対して共にさらにたたかいを強めていかねばならないと思っています。

核基地は日本にもどこにもいらない！

米軍基地を撤去し、すべての米軍は日本とアジア太平洋から撤退せよ！

米日合同軍事演習反対！

日本と世界の平和のためにたたかおう！

すべての被爆者とその家族に補償を！

国際連帯万歳！